

**場所** 広島県広島市

**面積** 2.9ha

**活動目的**

- I：サイトの生物多様性の維持・向上
- II：従業員の快適な労働環境および地域住民の安全な生活環境の創出

**サイト概要** 当サイトは、広島市の「広島西部丘陵都市建設実施計画（平成元年）」によって作られた「西風新都」内の「伴南工業地区」に位置しており、三菱食品 広島フルライン物流センター（以下、広島FLDC）の敷地内にある緑地である。サイトの東側、南側はいずれも住宅地区として整備されており、当サイトは、住宅地区と工業地区の緩衝帯となっている。ウグイス・エナガ・コゲラ・ジョウビタキ・シロハラ・ヤマガラなどの鳥類が当サイトを利用している。



## 土地利用の 変遷

広島市街地の太田川河口デルタを取り囲むように丘陵地があり、当サイトはその丘陵地の一部に位置している。広島市の「広島西部丘陵都市建設実施計画（平成元年）」の都市づくりにより丘陵地の一部が切り拓かれたが、当サイトは開発区域の一画に残された自然である。サイトの一部は保安林指定されており、都市開発前からの植生が残されていると思われる。保安林以外の範囲は、都市開発時に一度植生を失っているが、再び自生した箇所である。

## サイト周辺の 環境

「伴南工業地区」の西側は丘陵地であり、さらに外側はクマタカやハチクマ等の猛禽類の生息や渡り個体が見られる山間地が広がる。東側は丘陵地が点在し、さらに東側は広島市街地となる。サイトに隣接する緑地は広島市が管理している。

## アピール ポイント

サイトの一部は保健保安林に指定されており、局所的な気象条件の緩和機能、じん埃、ばい煙等のろ過機能、公衆の保健、衛生としての役割を担っている。また、都市開発時に一度植生が失われた区域では人為的な手を加えず植物の自生を促してきた。今後はさらに、生物多様性に富んだ緑地づくりをしていく。なお、サイトの生物多様性を維持・向上させる目的として、屋外での殺虫剤の使用を禁止している。

## 生物多様性の価値

## 価値（3）里地里山といった二次的な自然環境に特徴的な生態系が存する場

## 【場の概況】

当サイトは二次林であるクサギ-アカメガシワ群落、アカマツ群落、路傍・空地雑草群落で構成されている。（環境省植生図1/2.5万より）

## 【主な植生】

クサギ-アカメガシワ群落、アカマツ群落、路傍・空地雑草群落（環境省植生図1/2.5万より）

## 【確認された主な動植物など】

【鳥類】（2024年2月8日/ 6月13日の現地確認種 計19種）

ホトトギス *Cuculus poliocephalus*、キジバト *Streptopelia orientalis*、コゲラ *Dendrocopos kizuki*、ハシブトガラス *Corvus macrorhynchos*、ヤマガラ *Poecile varius*、シジュウカラ *Parus minor*、ヒバリ *Alauda arvensis*、ツバメ *Hirundo rustica*、ヒヨドリ *Hypsipetes amaurotis*、ウグイス *Cettia diphone*、エナガ *Aegithalos caudatus*、メジロ *Zosterops japonicus*、ムクドリ *Spodiopsar cineraceus*、シロハラ *Turdus pallidus*、ツグミ *Turdus naumanni*、ジョウビタキ *Phoenicurus aureus*、キビタキ *Ficedula narcissina*、ハクセキレイ *Motacilla alba*、カワラバト（ドバト） *Columba livia*

【両生類・昆虫類】（2024年6月13日の現地確認種 計4種）

モリアオガエル *Zhangixalus arboreus*、ショウジョウトンボ *Crocothemis servilia*、オオシオカラトンボ *Orthetrum melania*、ベニシジミ *Lycaena phlaeas*



写真の説明：保安林内の様子



写真の説明：エナガ（巣立ち雛）

## 生物多様性の価値

## 価値（4）生態系サービスの提供の場であって、在来種を中心とした多様な動植物種からなる健全な生態系が存する場

## 【場の概況】

【調整サービス】当サイトの東側、南側はいずれも住宅地区として整備されている。当サイトは、物流センターからのじん埃等のろ過機能や騒音の緩和機能を有し、住宅地区と工業地区の緩衝帯となっている。

【文化的サービス】従業員へ自然景観を提供するというレクリエーション機能を有している。また、従業員によるサイト周辺のごみ拾いや草刈等といった管理を通して、サイトに生息する生物への関心が高まっている。今後は従業員や地域住民等にサイト管理や関心の輪を広げていき、活動の充実を図る予定である。

## 【主な植生】

クサギ-アカメガシワ群落、アカマツ群落、路傍・空地雑草群落（環境省植生図1/2.5万より）

## 【確認された主な動植物など】

【鳥類】（2024年2月8日/ 6月13日の現地確認種 計19種）

ホトトギス *Cuculus poliocephalus*、キジバト *Streptopelia orientalis*、コゲラ *Dendrocopos kizuki*、ハシブトガラス *Corvus macrorhynchos*、ヤマガラ *Poecile varius*、シジュウカラ *Parus minor*、ヒバリ *Alauda arvensis*、ツバメ *Hirundo rustica*、ヒヨドリ *Hypsipetes amaurotis*、ウグイス *Cettia diphone*、エナガ *Aegithalos caudatus*、メジロ *Zosterops japonicus*、ムクドリ *Spodiopsar cineraceus*、シロハラ *Turdus pallidus*、ツグミ *Turdus naumanni*、ジョウビタキ *Phoenicurus aureus*、キビタキ *Ficedula narcissina*、ハクセキレイ *Motacilla alba*、カワラバト（ドバト） *Columba livia*

【両生類・昆虫類】（2024年6月13日の現地確認種 計4種）

モリアオガエル *Zhangixalus arboreus*、ショウジョウトンボ *Crocothemis servilla*、オオシオカラトンボ *Orthetrum melania*、ベニシジミ *Lycaena phlaeas*



写真の説明：保安林内の様子



写真の説明：キビタキ

## サイトの活動計画・モニタリング計画

| 活動計画の内容  | モニタリング計画の内容  |
|--|--|
| <p><b>&lt;活動目的&gt;</b><br/>本活動の目的は、従業員の快適な労働環境および地域住民の安全な生活環境の創出と、将来において、生物多様性に富む緑地づくりをしていくことである。</p> <p><b>&lt;従来 of 活動内容&gt;</b><br/>【①保安林（アカマツ群落）、②保安林（その他の植生）】<br/>・森林法に基づいた適切な植生管理の実施<br/>※生態系サービス発揮に必要な植生管理<br/>（枝打ち・下草刈り・必要に応じた施肥・灌水・防疫等）<br/>※緑地の快適な利用に資する清掃や落葉掻き等<br/>【③その他の植生】<br/>・物流センターの操業阻害を回避する植生管理<br/>※「広島FLDC」施設と当サイトとの境界部に除草マットを敷設し、駐車スペースの維持管理を実施<br/>・上記記載以外には、当サイト内の植生に対する人為的な管理作業等を適用せず、植生を維持（ただし地域住民等の要請に応じた枝打ち・下草刈り等は実施）<br/>【当サイト全体における行為制限】<br/>・当サイトの生物多様性を維持・向上させる目的から、「広島FLDC」施設外における、コンテナ等への殺虫剤使用を禁止</p> <p><b>&lt;実施体制、計画の点検・見直し&gt;</b><br/>・活動責任者は「三菱食品株式会社」である。サイトの位置する「広島FLDC」からは本取組みの同意を得ている。直近の活動体制としては、活動責任者が活動計画を策定し、緑地を保全する活動を継続していく。</p> | <p><b>【モニタリング対象】</b><br/>植生、鳥類、哺乳類を対象とする。</p> <p><b>【モニタリング場所】</b><br/>植生：特徴的な群落2～3箇所程度を選定<br/>鳥類：サイト全域<br/>哺乳類：保安林区域を想定</p> <p><b>【モニタリング手法】</b><br/>植生：植物群落調査（ブロン-ブランケ法）<br/>鳥類：スポットセンサス法、任意調査<br/>哺乳類：無人カメラ、任意調査</p> <p><b>【モニタリングの実施時期及び頻度】</b><br/>原則5年に1回の頻度での実施を想定<br/>植生：1日×1回（7月～9月頃）、鳥類：1日×3回（繁殖期、秋の渡り期、越冬期）、哺乳類：一晚×1回（4～5月、9～10月、1月）</p> <p><b>【モニタリング実施体制】</b><br/>環境調査会社に依頼</p> |